



管理者養成講座始まる

＜第一日＞ 生きた経験談に聴講者が感銘

満点製作所横田社長が講演

大阪大学生産技術研究会、当協会共催により1月より2月にわたり開催される管理者養成講座はまず第一日が1月24日午後1時より松坂屋ミーティングルームにて開れた。当日は新しい経営方式で各方面から注目されている満点製作所社長横田辰三氏が初講座を持った。テーマは「新製品開発と企業」氏の講演は実際の経験を生かした内容をゼスチュアを交えて解り易く説き進み、多数の聴講者に好個の参考となった。

創造性なきものは滅びるであろうと御木本真珠や外国の



例を挙げて説明、事業は社内では熱心な担当者、社外ではよき協力、支援者が必要であって、新規事業を始めるには広い視野で情報を集めて取りかかり、理想としては大衆向の製品、アフターサービスはなるべくないものを選び、容積が大きくないものなどであろうと、秘密に属する貴重な経験談を披露して、4時過ぎ散会した（写真は講演する横田講師）

＜第二日＞ 経営組織の諸問題

阪大経済学部高田教授が講義

管理者養成講座・第二日は2月2日午前10時30分より松坂屋ミーティングルームにて開れた。当日の講師は阪大経済学部教授高田馨氏が担当「経営組織の諸問題」のテーマで講演した。聴講者は会社経営の中堅幹部約30名が出席、経営学の権偉である高田教授の講義を熱心にメモしていた。

講義は昼食時間を除き4時間余にわたり、1) 経営理念について、その意義、必要性、内容、社会的責任などにつき説明、2) 経営目標の項では利潤目標、売上目標、付加価値目標を説き、3) 分権管理と事業部制、4) 目標管理制度、5) リンギ制度、6) タスクフォース制、7) 専門職制度、8) 提案制度、9) 生産組織と分配組織の区別と統合について詳細に講義された。

最新の中国事情講演会

阪大医学部 丸山教授

大阪大学生産技術研究会、当協会共同主催の最近の中国事情講演会は1月21日午後1時半より工学部溶接工学科大会議室にて昨年末帰国された阪大医学部丸山博教授を迎えて開催された。当日は現下世界の注視を集めていて中国の近況を知る良い機会とあって参会者多数が詰めかけた。まず中国の文化、産業、教育などの現況を説明、スライドを使ってはっきりと認識を深めた。まだ問題の紅衛兵の行動は国際関係もあるので批判は避けたが相当つっ込んだ実状を説き聴講者に感銘を与えた。(写真は講演する丸山教授)

